

西中コミュニティ・スクールだより

— 境西中学校運営協議会から — 第3号 H30.12.7

境西中学校区(学府)連携協議会開催

平成30年10月22日に平成30年度境西中学校区連携協議会が開催されました。今回は第3回境西中学校運営協議会を兼ねて、境剛志小学校評議員会と合同の会議となりました。

石原会長から、「これまで2回境西中学校の運営協議会の中で、学校と地域でどう子供達を育てていくかを協議して参りましたが、今回は境西中学校区連携協議会ということで境剛志小学校の評議員さんも交え、両者で剛志地区全体での子どもたちと地域との関わりを考えていく会議となります。どうぞよろしくご協議お願いします。」とのあいさつをいただきました。

☆ 出席者(敬称略)

境剛志小：内山美好 長瀬孝子 堀込充江 梅澤光代 須藤容敏 峯岸哲夫 田沼正一

境 西 中：川上夏代子 高柳茂夫 門倉武雄 石原國憲 柳田重幸 小島輝男 田島康匡
中澤和美 柳澤篤 寺前一美

市 教 委：吉田晃延

1. 学府について 吉田指導主事（伊勢崎市教育委員会）

すでにこの学校区では、「弁当の日」、「剛志の歌」、前橋育英高校野球部荒井監督の講演会及び研修会、ゴボウを題材としたふるさと学習の推進など、学校と家庭が連携し地域が目指す子育てが始まっていると思います。

他地域では、災害時を想定した引き渡し訓練を小中合同で行い、中学生が小学生を親へ引き渡す役割をしたり、小学校の道徳で中学校の先生が授業をしたり、幼稚園の外国語活動で小学校の先生が園児に英語を教えたりする取組などが見られます。これらのことも参考にして、今後の協議を重ねていただければと思います。



2. これまでの取組について 須藤境剛志小学校長

本校では「剛志の歌」の復活の取組をしています。具体的には、マーチングの演奏で発表したり(上毛新聞へ掲載)、剛志地区の文化祭で子どもたちの歌で発表したりしました。このことで、祖父母や家族との会話がはずんだとの声も聞くことができ、今後も地域で歌っていけるように取り組んでいければと思っています。

3. これまでの取組とコミュニティ・スクールについて

田島境西中学校長

コミュニティ・スクールとは、地域とともに子どもたちの将来を考えていくことを進める取組です。伊勢崎市は群馬県内では先進的に取り組んでいます。東京都品川区の学校では土寺と呼んでいる土曜日に自主的に塾を行うという取組など先進的なものがあります。

本校では、子どもが作る「弁当の日」の取組をしています。今年度3回実施し、中にはキャラ弁などとても手のこんだ弁当を作ってきている生徒も出てきました。弁当を作ることから、料理を作る大変さを身を持って体験し、親への感謝の気持ちや自己肯定感が高まってきています。ちなみに、本校生徒の自己肯定感は、全国平均に比べかなり高くなっています。この「弁当の日」の様子は上毛新聞にも掲載されました。近隣の豊受小では親父の会で「弁当の日」が実施されるなど他の地域への広がりも見せています。また11月30日には、子どもが作る「弁当の日」の提唱者である竹下和男先生の講演会も予定しています。

ふるさと学習では、銘仙の体験学習や地場産の甘九郎牛蒡を使った調理実習、また、学校の畑では、JA佐波伊勢崎の指導で生徒が牛蒡の種を蒔き、来夏に収穫の予定です。地域の良さを生徒が体験し、色々なところでアピールできるようにと活動しています。

4. 部会別協議（地域課題検討部会・学校課題検討部会）



地域課題検討部会



学校課題検討部会

○地域課題検討部会（座長：石原会長）

中学校で子どもたちの余暇についてアンケートをしていただいた。その結果をふまえ、今後、できる活動を検討をしていきたい。

○学校課題検討部会（座長：田島校長）

子どもたちが地域の人のお話を聞く機会をつくるため、地域の人の中で子どもたちに話ができる人や、内容のリストをつくっていただけると話が出ました。

5. 全体会とまとめ

今後の協議の中で、目指す子ども像や目標を立てていきたい。自分で体験した事やふるさとの良さを他の地域へ行っても話ができる子どもをつくりたいと思っています。（田島校長）

市教育委員会の話を聞き、今までの取組を踏まえ、これから先を考えていければ良いと感じた。小中合同の会議は人数も多く心強い。今後も連携し剛志地区の子どもたちを育てていきたい。（須藤校長）